

## 南高スピリットアッププログラム ミュージアムパーク自然体験活動

12月6日（金）、坂東市にあるミュージアムパーク茨城県自然博物館にて、夜間制の生徒29名が自然体験活動を行いました。参加した生徒たちは、午前中に常設展や30周年記念の企画展を見学しました。宇宙や生物に興味を持つ生徒が多く、その好奇心を満たすための時間が足りないという声も多く聞かれました。展示内容は多岐にわたり、様々な鉱石や実物大の動物模型、さらにはレプリカなどが並び、生徒たちの興味を引きました。

企画展ではミュージアムパークの歩みが紹介され、特大ゴキブリホイホイなどユーモア溢れる体験型の展示もあり、生徒たちは楽しみながら学びを深めることができました。

昼食時には天候にも恵まれ、紅葉の美しい景色を眺めながら外のベンチでお弁当を食べる生徒たちの姿が見られました。一方で、館内のレストランでの食事を楽しむ生徒もあり、各々がリラックスした時間を過ごしました。

午後からは全員で自然発見工房に移動し、那須の木の葉の化石観察を行いました。職員の村田一弘先生から詳しい説明を聞いた後、自分で石を掘る作業に挑戦しました。クッションの上で慎重に石を割りながら、化石の葉が現れるたびに歓声が上がり、活動は大いに盛り上がりました。掘り終わった後は、ワークシートを使って自分の見つけた葉の同定作業を行い、隣の生徒と相談しながら観察を進めました。発表では、「化石から当時の気候がわかるとはすごい」と驚きの声が上がリ、学びの深さを感じさせる場面が見られました。

短い時間ではありましたが、生徒たちは普段の授業では体験できない貴重な一日を過ごしました。この活動を通じて、自然の偉大さや歴史の奥深さを感じることができ、今後の学びに活かしていく良い機会となりました。

